

令和4年度
「中学生モ二夕一会議」
活動記録

東京都北区政策経営部広報課

<はじめに>

北区では「区民とともに」の基本姿勢のもと、区民の方々から、区の施策に対する意見・要望・提案等を直接伺う「区政モニター会議」を開催しています。この「区政モニター会議」は、意見・要望・提案等を伺うだけではなく、区政への理解を深めていただくことも目的としています。

このほか、各世代が抱える課題や地域・区政が抱える課題等について話し合い、大人では気付かない視点から意見・要望・提案等を出していただく場として、小学生を対象とした「小学生との区政を話し合う会」、中学生を対象とした「中学生モニター会議」、高校生を対象とした「高校生モニター会議」を開催しています。

さて、このたび、中学生を対象とした「中学生モニター会議」を行い、活動記録を作成いたしました。

今年度は、「子どもたちが健やかに成長できる北区を目指して～『(仮称)北区子ども条例』に盛り込むべき内容など～」というテーマのもと、夏休み中の3日間(ほかに施設見学会1日)、のべ6時間の会議を行いました。

はじめに、各グループで、テーマに関する話し合いを重ね、発表会に向けて発表資料を作成していただきました。そして、最終日の発表会では、区長の前で、作成した発表資料をもとに、「身近にある子どもの課題」について、課題の分析と改善に向けて何ができるのかについて発表していただきました。

この活動記録では、中学生モニターの皆さんが「区に対して行った提案の内容」や、「提案に至るまでの経過」を紹介しています。

なお、中学生モニターの皆さんからの提案については、今後の区政運営の参考として、引き続き、若い世代の貴重な意見を区政に反映するよう努めてまいります。

令和4年10月

東京都北区政策経営部広報課

目 次

1 「中学生モニター会議」活動内容.....	1
2 「中学生モニター会議」発表会会議録.....	7
1. 開 会.....	7
2. 区長挨拶.....	7
3. 出席者紹介.....	8
4. 経過報告.....	9
5. 班別発表.....	9
6. 講 評.....	22
7. 感 想.....	24
8. 閉 会.....	27

1 「中学生モニター会議」 活動内容

令和4年度の「中学生モニター会議」には、14名の中学生に参加していただきました。はじめに全体を通しての「活動内容」を紹介していきたいと思います。

「中学生モニター会議に参加してみようかな」と思っている中学生の皆さんは、ぜひ参考にしてください。

令和4年度中学生モニター 活動実績

会 議	日 時	会 場	内 容
委嘱式 ・ 第1回会議	7月25日(月) 13:00~13:15 同日 13:15~15:00	岸町ふれあい館 3階第5集会室	・委嘱式 ・班内での自己紹介、 ・テーマ設定
施設見学会	7月27日(水) 10:00~12:00	浮間子ども・ティーンズセンター	・施設概要の説明 ・施設見学
第2回会議	7月29日(金) 13:00~15:00	岸町ふれあい館 3階第5集会室	・テーマについての話し合い 現状把握、課題の共有
第3回会議	8月1日(月) 13:00~15:00	岸町ふれあい館 3階第5集会室	・テーマについての話し合い 意見整理、提案検討 ・模造紙/発表台本の作成 ・発表練習
発表会	8月3日(水) 13:00~15:00	岸町ふれあい館 3階第5集会室	・テーマについての提案報告

(1) 委嘱式

中学生モニターの最初の顔合わせです。自己紹介をしたり、今後のモニター会議の流れ等について説明を聞きました。

委嘱式の様子



グループワークの様子



(2) 施設見学会

今年度は北区浮間にある「浮間子ども・ティーンズセンター」にて施設見学会を行いました。令和2年4月に開館したばかりのセンターは、浮間中学校・図書館・児童館などが入る複合施設となっており、光あふれる真新しいセンターを見学したモニターからは「うちの近くにもこんな施設が欲しい」と感嘆の声があがりました。

施設概要説明の様子



施設見学の様子



(3) モニター会議

中学生モニター会議の中心となる活動です。活動は夏休みに集中させ、学校の行事や学業に支障がないよう行いました。

今年度は、3つの班に分かれ、班ごとにグループワークを行いました。グループワークでは、身近にある子どもの問題の中から関心のあるテーマを選び、「私たちが考える理想的な状態・とるべき行動」→「実際に発生してしまっている問題・課題」→「現状における解決のための支援策や周囲の大人たちの状況」→「私たちが考える改善に向けた取り組み」という流れで、段階を踏んで考えていただきました。

「話し合い」や「会議」というと、なんだか堅苦しいイメージがあるかもしれませんが、そんなことはまったくありません。実際に参加してくれたモニターからも、「同年代の違う学校に通う生徒と意見交換ができてよかった」「自分が思いつかないようなアイデアがあって刺激を受けた」などの感想を寄せてくれています。

気楽な雰囲気の中で自分の意見を発表してもらえるよう心がけていますので、ぜひ、皆さんもモニターに応募してください。

グループワークの様子



グループワークの様子<1班>



グループワークの様子<2班>



グループワークの様子<3班>



(4) 発表会

区長や区の関係者が出席するなか、区への提言と感想を発表してもらいました。皆さん緊張した面持ちでしたが、発表会を終えると、最後には清々しい表情を浮かべ、達成感を感じている様子が印象的でした。

発表の様子<1班>



発表の様子<2班>



発表の様子<3班>



発表に使用した模造紙<1班>

中学生にとって心地よいと感じる居場所はどんなところか

1. テーマについて考えたこと

- 存在が認められていて自分らしくいられる
- 不安にならなくてもいい
- 好きなことができる
- 1人ひとりが居場所をいっかが持っている方がいい

2. 私たちの考える理想的な状態

- 悩みを1人で抱えている人々なくす
- カウンセリングなど相談しやすい環境づくり
- 子どもの楽しめる遊べる場を増やす
- 多くの学生が学校を居場所のひとつと思える
- 子どもどうし、子どもと大人の間で意見交換やコミュニケーションが活発

3. 発生している問題

- 心地よいと感じる場所ほとんどない
- 戦争などによって居場所を失った子どもがいる
- 虐待やいじめなどで居づらいと感じる人がいる
- 災害・感染症などの影響で居場所である施設に行けなくなる可能性がある
- 学校に行っていない人が行ける場所があるがそこにいけない人もいて周りに理解されない
- 学校に行かずに家を出るというようなケースがある

4. 現状

- 生徒全員がスクールのセンターや担任の先生と定期的に話すことができると相談しやすい環境をつくる
- クラス替えなどでアンケートをとる
- クラスメイトなどとして交流を深める
- 学校での選択肢を増やし、居場所のハードルを下げる
- オンライン授業で誰が受けているか他の生徒に分からないようにする

5. 「(仮称)北区子ども条例」に望むこと

- 名称: 北区子供が健やかに育つための条例、北区子供幸福・自由条例、北区子供の未来を創ろう条例
- 構成: シンプルにまとめた後、詳しく書いてほしい
- 内容: いじめについてのまじりに書いてほしい
- いじめの早期発見に努める事、その他の対応などについての詳細
- その他: 子供に関する仕事(保護士職)をする人の環境整備やメンタルケア

発表に使用した模造紙<2班>

LGBTQ+の人が自分らしく過ごすためにどんな配慮必要か

1. <理想的な状態>

LGBTQ+を自然に受け入れる

<とるべき行動>

LGBTQ+について知ってもらうための呼びかけ

2. 発生している問題

- <周囲に打ち明けづらい>
 - 環境がない
 - 嫌われてしまうかも
- <洋服について>
 - 本当に着たいものを着れない
 - 制限が男女で違ってきない
- <同性婚について>
 - 結婚したくてもできない
 - 周りから反対される
 - 国によって差がある

3. 現状

- <周囲に打ち明けづらい>
 - 理解し環境をつくってくれる大人もいる
- <洋服について>
 - 人によって反対し差別する人がいる
 - 男女兼用の服をつくっている所もある
- <同性婚について>
 - 人によって反対し差別する人がいる
 - 同性恋愛をテーマにしたドラマが放送されている
 - パートナーシップ宣誓制度ができた

4. 私達が考える改善に向けた取り組み

- 教員と生徒がLGBTQ+について考える時間をとる
- 相談できる機関の紹介する手紙を月1で配布する
- 男女兼用のトイレを増やす
- 名簿を男女混合にする
- 図書室でLGBTQ+に関する本を置く
- 制服は男女で選択制にする
- 男女で髪形の規制を統一する

<「(仮称)北区子ども条例」に望むこと>

条約文数...簡潔に分かりやすく書く難しい言葉を使わない

その他...条例を子どもに分かりやすく知ってもらうために動画をつくる

発表に使用した模造紙<3班>

生まれる国が選べたら

~差別やいじめのない国~

* 問題点: ハーブの人や外国人の方の差別やいじめ相談できず、悩みを抱えてしまう。

現状

身近に差別がある事に気付かなく

道徳で差別をテーマにしてるが、アクションや意見のなにより信用性が低い

解決策

道徳の授業で実際にいじめを受けたりしたことある人が話す

自分のまわりにも差別やいじめがあるかもしれないことを実感しやすくする

道徳の教科書にのっている話よりも、体験の方が信用性が高い

相談窓口の現状と解決策

現状

- 小中学生に相談窓口周知カード配布
- 本当に秘密を守ってくれるか
- 気軽に利用できるのか心配

解決策

- 相談窓口を知らせてもらう
- LINEやココロにLINEを入れる
- 特定の悩みを話しやすい先生に相談する
- 学校側と連絡が取れ、砂漠を越えて個人センターで相談する
- 様々な生徒が先生だけでなく話しやすい人に相談できる
- LINEやSNSを教員で使えば、文面でも相談が受けられる

相談窓口周知カード

私たちが「(仮称)北区子ども条例」に望むこと

- 名称: 北区子ども条例
- 条約文数: 短いほうが良い
- その他:
 - 歌をのり、音楽で歌う
 - ダンスをつくり、体育で踊る
 - おかずタイムで条例の歌を流す
 - 条例の暗記テストの実施

集合写真<1班>



集合写真<2班>



集合写真<3班>



2 「中学生モニター会議」発表会会議録

次に、中学生モニター会議の主目的である、区長をはじめとする区関係者に向けたモニター会議発表会の内容についてまとめました。以下は当日の会議録になります。

- 日 時 令和4年8月3日（水）午後1時から3時
- 場 所 岸町ふれあい館3階第5集会室
- テーマ 子どもたちが健やかに成長できる北区を目指して
～「（仮称）北区子ども条例」に盛り込むべき内容など～
- 出席者 中学生 7校14名
区長、政策経営部長、教育振興部長、子ども未来部長、子ども未来課長、子ども未来課職員、広報課長、広報課職員

1 . 開 会

◎広報課長

皆さん、こんにちは。

本日は、暑い中、ご出席いただきましてありがとうございます。

それでは、これより、令和4年度中学生モニター会議発表会を行います。

本日の司会を務めさせていただきます、広報課長でございます。どうぞよろしくお願い致します。

それでは、まず初めに注意事項になります。本日も写真撮影等が入ります。まずは、前回委嘱式のと様と同様に、広報課の報道担当が今日の様子を撮らせていただいて、写真を各新聞社などに提供するとともに、区のホームページに掲載をさせていただきます。

また、本日は取材のためにJ：COM東京北局のカメラも入っています。会議終了後に皆さんの中のどなたかに感想などをお伺いすることがあるかもしれませんので、そのときはご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、開会に当たりまして、花川区長からご挨拶を申し上げます。花川区長、よろしくお願いいたします。

2 . 区 長 挨 拶

◎花川区長

皆さん、こんにちは。新型コロナウイルス感染症が急拡大し、大変な酷暑の中、中学生モニターとして活動していただき、本当にありがとうございました。

7月25日の委嘱式の際に、北区がもっともっと、よりよい町になるための意見や提案をたくさん出してほしいというお話をしました。実際に活動してみて、いかがでしたか。

身近にある様々な課題から、子どもたちがのびのびと生活し、成長できる新しい北区になるためのアイデアはありましたか。

皆さんが中学生モニターの活動を通して、自身の視野が広がり、北区を支える区民の一人として真剣に北区のことを考えていただけたのであれば、こんなにうれしいことはありません。

このモニター会議が、皆さんにとってもよい経験となり、区政に関心を持っていただくきっかけとなれば幸いです。

これからも皆さんが、学校や地域で、ますます活躍されることを期待しています。

この後、皆さんの発表を聞かせていただきますが、「(仮称)北区子ども条例」を制定する上での参考やヒントがもらえるものと大変楽しみにしています。どうぞよろしく願いいたします。

以上です。よろしくお願いいたします。

3. 出席者紹介

◎広報課長

花川区長、ありがとうございました。

それでは、続きまして本日の出席者を紹介させていただきます。

改めまして、花川区長でございます。

◎花川区長

よろしくお願いいたします。

◎広報課長

続いて、政策経営部長でございます。

◎政策経営部長

よろしくお願いいたします。

◎広報課長

教育振興部長でございます。

◎教育振興部長

皆さん、こんにちは。よろしくお願いいたします。

◎広報課長

子ども未来部長でございます。

◎子ども未来部長

こんにちは、よろしくお願いいたします。子ども条例をつくるころの部を担当しています。よろしくお願いいたします。

◎広報課長

続きまして、もうよくご存じかもしれませんが、子ども未来課長でございます。

◎子ども未来課長

よろしくお願いいたします。

◎広報課長

また、本日は、教育委員のお二方にもお越しをいただいております。

まず、お一人目は、〇〇〇委員（教育委員A）でございます。

◎教育委員A

〇〇〇でございます。今日はとても楽しみに伺いました。どうぞよろしくお願いいたしますします。

◎広報課長

続きまして、〇〇〇委員（教育委員B）でございます。

◎教育委員B

〇〇〇でございます。よろしくお願いいたします。皆様の若い人の意見は大変貴重だと思っておりますので、ぜひ今日は楽しみに来ました。参考にさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

4 . 経 過 報 告

◎広報課長

出席者の紹介は以上でございます。

それでは、発表に入るまでにこれまでの活動について、簡単に報告をさせていただきます。

お手元にお配りをしました令和4年度中学生モニター活動実績をご覧ください。

まず、1回目が7月25日ですけれども、委嘱式と1回目の会議を行いました。この会議では3班に分かれて、班ごとに本日の発表のためにグループワークを行いました。グループワークでは、発表会で発表するためのテーマ決めを行ったところです。

続いて、2回目が7月27日、浮間子ども・ティーンズセンターでの施設見学会を行いました。

そして、3回目としまして、7月29日の第2回目の会議ですけれども、第1回目のグループワークの続きということで、現状の把握と課題の共有を行いました。

4回目、8月1日ですが、第3回目の会議として、第2回目の会議での意見を整理し、本日の発表会に向けて準備やリハーサルを行い、発表内容の見直しを行いました。

そして、本日が4回目の会議として、発表会を行うというような状況になっています。この後、3日間にわたり取り組んだ各班の成果を、区長の前で発表していただきたいと思っております。

それでは、早速発表に移らせていただきます。グループワークの成果を各班から発表していただきます。発表の順番は、1班、2班、3班の順でお願いいたします。

発表の前に、学校名、氏名、また中学生モニター活動に参加して感じたことなどの感想をお聞かせいただければと思っています。

それでは、1班の皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。

5 . 班 別 発 表

◎中学生モニター（1班）

これから、1班の発表を始めます。気をつけ、礼。

まず、自己紹介です。

飛鳥中学、2年の〇〇〇です。今回参加した感想は、普段の生活では体験することのできないような本格的な会議を経験することができて、基本的なグループワークの進め方なども分かったのでよかったです。また、違う学校の人とも交流できて色々な考えなどを共有することができたので、これからの生活に生かしていきたいと思います。本当に楽しかったです。以上です。

◎中学生モニター（1班）

堀船中学校の2年の〇〇〇です。今回は北区や私たち子どものことについて考えたり話し合ったりすることができて充実した5日間になりました。とても楽しかったです。もしもまたこのような機会があったら、ぜひ参加したいと思いました。

◎中学生モニター（1班）

浮間中学校2年の〇〇〇です。今回まで全く知らない人と話し合ってきたけれども、発表までたどり着くことができてよかったです。今回、この発表が北区の未来につながっていけばなと思っています。

◎中学生モニター（1班）

滝野川紅葉中学校の2年、〇〇〇です。今回の感想は、同年代の同じ学校の人以外の人と意見交換をするという貴重な体験ができて本当によかったです。この経験を今後の学校生活にも生かしていきたいと思います。

◎中学生モニター（1班）

稲付中学校2年、〇〇〇です。今回、このような会議に参加して様々な学校の人と今や未来の北区について考え、意見を共有し、考えを深めることができて、とても貴重な体験になりました。これからも学校生活や普段の生活にも活かせるようにしていきたいです。

◎中学生モニター（1班）

私たち1班では、「中学生にとって心地よいと感じる居場所はどんなところか」についてのテーマを選択しました。

初めに考えたのは、テーマについてで、それについて出た意見としては、認められていて自分らしくいられるところ。不安にならなくてもいいところ。好きなことができる場所。また、居場所を失ってしまうこともときにあると思うので、幾つかの居場所を持っていたほうがいいのかという意見もありました。

次に考えたのは、私たちが考える理想的な状態についてです。いじめなどの悩みを一人で抱えている人をなくすために、カウンセリングなど相談がしやすい環境をつくってあげることや大人が子どもの意見を聞いてしっかり考えること。子どもが楽しめる公園などの遊び場を増やすこと。多くの学生が学校を自分の居場所の一つだと思えるように学校をもっと好きになれるようにすること。子ども同士、子どもと大人の間で意見交換やコミュニケーションが活発化するようにすることなどの意見がありました。

以上です。

◎中学生モニター（1班）

次に、実際に発生してしまっている問題、課題などについてです。心地よいと感じ

る場所は人それぞれ違うこと。戦争などによって居場所を失う子どもがいること。この二つについては、支援策や支援の状況を考えました。ほかにも虐待やいじめなどで居づらく感じる人がいること。災害、感染症などの影響で居場所である施設に行けなくなる可能性があること。学校に行っていない人が行ける場所があるが、そこに行けない人もいて、周りに理解されないことがあること。学校に行けず家出をするというようなニュースがあること、という意見が上がりました。

◎中学生モニター（1班）

次に、現状における解決のための支援策や周囲の大人たちの状況についてです。

1の心地よいと感じる場所が人それぞれ違うということについて、保護者、家族が行っていることとして一人部屋をあげる。学校が行っていることとして保健室の開放、ひまわり教室、スクールカウンセラー。地域の大人や民間企業が行っていることとして子ども食堂。区などの行政機関が行っていることとして、児童館という意見が上がりました。

また、2の戦争などによって居場所を失った子どもたちがいるということについて、保護者、家族が行っていることとして里親のような制度。学校が行っていることとして日本語学校。地域の大人や民間企業が行っていることとして言語の手助け、募金活動。区などの行政機関が行っていることとして、その募金の受入れなどの意見がありました。

◎中学生モニター（1班）

次に、私たちが考える改善に向けた取り組みについてです。最初のほうに話した私たちが考える理想的な状態の1番「いじめなどの悩みを一人で抱えている人をなくす。カウンセリングなど相談がしやすい環境をつくる」、2番「大人が子どもの意見を聞いてしっかり考える」についての改善策として、生徒全員がカウンセラーの人と交流会などを行ったり、担任の先生と定期的に話したりして生徒が相談しやすい環境をつくること。クラス替えなどで合わない人などのアンケートを採るといった工夫をしてほしいということなどが上がりました。

また、3番「多くの学生が学校を自分の居場所の一つだと思える」についての改善策として、クラスメイトとの交流を深められるように、中学校でも小学校のようにクラスでゲームなどをしてほしいということ。学校での行動の選択肢を増やして、授業を受け方などの自由度を上げること。オンライン授業で誰が受けているのか、ほかの生徒が分からないようにしてほしいということなどが上がりました。

◎中学生モニター（1班）

最後に、北区子ども条例に望むことについて、私たちの班では名称、条文や条文の内容について、そしてその他の意見、四つの項目に分けて考えました。

一つ目の名称について、「北区子どもが健やかに育つための条例」「北区子どもの未来を守ろう条例」「北区子ども幸福・自由条例」などの案が出ました。

次に、条文について、中国語や英語など様々な言語を使用してみたらどうか。分かりやすくシンプルな内容のもの。様々な内容のものを作成してほしい。ジャンルや目的、目標ごとに分けてつくってほしい。

内容に関しては、いじめの早期発見、オンライン授業と学校での授業を選べるよう

にするなど、学校での選択肢を増やすことで登校に対するハードルを下げる。子どもだけでなく、教師や保育士など子どもに関わる職業の人の待遇をもっとよくしたらどうか、などの意見が出ました。

四つ目のその他の意見では、「いかのおすし」のような標語やポスター、動画を作成して、学校での掲示、学校の授業や委員会、生徒会などで取り上げることで子どもたちが条例に触れる機会をつくるなどの意見が出ました。

これで、1班の発表を終わります。気をつけ、礼。

◎広報課長

1班の皆さん、ありがとうございました。

それでは、1班の皆さんは、まだそこに少し残っていただきまして、2班、3班から今の発表に対しての意見や質問、感想などがあれば、聞いていただきたいと思いません。ご意見がある方はいらっしゃいますか。ある方は挙手してください。みんな、あるかな。

じゃあ、2班を代表してお願いします。

◎中学生モニター（2班）

一つのことについて、幾つも意見を出したり詳しく書いていて、すごいなと思いました。

◎広報課長

ありがとうございました。

3班の中でも誰かご意見や質問ある方はいらっしゃいますか。

◎中学生モニター（3班）

私たちも学校生活について、いじめや差別を受けている人がどうやって学校に居場所をつくれればいいかということについて考えたんですけど、私たちは学校の授業に取り入れるということを考えてんですけど、1班ではほかに学校以外の居場所をつくるということも考えていたので、すごく自分の視野が広がりました。

◎広報課長

ありがとうございました。

ほかの方は質問やご意見は大丈夫ですか。いいですか。

それでは、区側から何かご質問、ご意見等があればお伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

◎教育振興部長

教育振興部長です。1班の皆さん、お疲れさまでございました。ありがとうございます。

今、お話聞かせていただいて、中学生にとって心地よいと感じる居場所について、様々な観点で意見を出していただいたのかなと思っています。その中でも私がやっぱり気になったのは、学校に来られない子どもたちなんかへの対応について、模造紙右側の一番上にもいろいろ書いていただいていると思うんですけど、地域だったり家庭だったり学校、それから区の行政機関、そういう役割的などころの観点で様々な提唱していただいたということはすごく皆さんの勉強にもなったし、我々もすごく考えさせられたなというところでした。今回のテーマは、模造紙の最後のところにも書いてあ

る、まさに学校が抱えているいじめの問題とか、不登校の問題とかというところに関わって検討していただけたのかなと思っていますので、教育委員会としても今回いただいた提案なんかも含めて、今後どういう取り組みができるか考えていきたいなと思います。ありがとうございました。

◎広報課長

ありがとうございました。

ほかにございますか。よろしいでしょうか。

◎教育委員A

大変すばらしい発表、ありがとうございました。

今、部長からもいじめの問題のことについてお話がございましたけれども、私も4番の改善に向けた取り組みの中の最後、オンライン授業で誰が受けているか、ほかの生徒に分からないようにするという意見にとっても心が痛みました。オープンにすることだけではなくてそういうように、分からないようにしなければいけないほどの深刻さは、きっと皆さんの経験の中でも見聞きしたことがあるのかなというふうに思ったからです。一人でもそういう子たちがいないようにオンラインであってもオープンな感じで学校生活を楽しめる、そんな北区の学校を目指していかなければいけないと改めて思いました。ありがとうございました。

◎広報課長

〇〇〇委員（教育委員A）、ありがとうございました。

ほか、よろしいでしょうか。ご意見等ございますか。

ほかに質問等はないようですので、1班の皆さん、すてきな発表をどうもありがとうございました。

それでは、続いて2班の発表になります。2班の皆さんは、「LGBTQ+の人が自分らしく過ごすために、どんな配慮が必要だと思いますか。」というテーマを考えてくれました。

2班の皆さん、準備はよろしいですか。

それでは、よろしくお願ひします。

◎中学生モニター（2班）

これから、2班の発表を始めます。気をつけ、礼。

それでは、まず自己紹介です。

僕は飛鳥中学校の2年の〇〇〇です。

今回参加した感想としては、初めてこういう会議に参加しましたが、ほかの人の意見とかも聞け、また新しい考えもできたのでいい経験になったなと思いました。

以上です。

◎中学生モニター（2班）

滝野川紅葉中学校の2年、〇〇〇です。

今回は、普段あまり考えないことについてたくさん考えることができたので、いい経験になりました。これを普段の生活に生かしていろんなことを考えられるようになればいいなと思います。

◎中学生モニター（2班）

桐ヶ丘中学校2年、〇〇〇です。

今回、こういう現在問題になっていることについて詳しく話し合うことができ、とても貴重な経験になりました。ほかの中学校の人たちとも関わることができて本当に楽しかったです。ありがとうございました。

◎中学生モニター（2班）

堀船中学校2年の〇〇〇です。

ほかの学校の人たちと自分たちの生まれ育った北区について深く考え、話し合うことができるとても楽しかったです。私たちの意見が未来の北区をよりよいものにするきっかけになることを祈っています。

以上です。

◎中学生モニター（2班）

2班では、「LGBTQ+の人が自分らしく過ごすために、どんな配慮が必要か」というテーマで話をしました。

僕たちが考える理想的な状態として、LGBTQ+を自然に受け入れる環境をつくる。また、そのような環境をつくるために取るべき行動として、LGBTQ+について知ってもらうための呼びかけを行うという意見がありました。

◎中学生モニター（2班）

テーマについて話し合う中で発生している問題は三つあると考えました。

一つ目は、周囲に打ち明けづらいという問題です。これは、2班の班員の体験から分かったことで、問題が発生している原因は、打ち明けられる環境がない、打ち明けたらその人に嫌われてしまうかもという不安からなかなか打ち明けられず、独りで悩みを抱えてしまうということが分かりました。

二つ目は、洋服を自由に着ることができないという問題です。本当に着たいものを着ることができない理由として、周りから反対を受ける。制服が男女別で選択できないという意見が出ました。

三つ目は、同性婚ができないという問題です。この理由として、周りの目が気になる、反対を受けるなどの理由から結婚したくてもできないという意見が出ました。また、国によって差があり、同性婚が認められている国もあるという意見も出ました。

◎中学生モニター（2班）

次に、現状における解決のための支援策や周囲の大人たちの状況です。

一つ目の打ち明けづらいという問題に対して、2班の班員の体験でその人は担任の先生に相談をしたところ、担任の先生はそのことに対して理解し、二人で話しやすい環境をつくってくれました。このように理解し、環境をつくってくれるという大人もいます。

二つ目は、洋服についてです。人によって反対し、差別をする人もいますが、大手企業などでは男女兼用の洋服を作っているところもあります。

三つ目の同性婚について、人によって反対し、差別をする人もいますが、最近では同性恋愛をテーマにしたドラマも放送されています。また、北区では新しくパートナーシップ宣誓制度というものができると、少しずつですが、LGBTQ+の人たちが過ごしやすい環境ができてきています。

◎中学生モニター（2班）

私たちが考える改善に向けた取り組みとしては、教員と生徒がLGBTQ+について考える時間をつくる。相談できる機関を紹介する。啓発の手紙を月に1回程度の頻度で配布する。男女兼用のトイレを増やす。名簿を男女混合にする。図書室でLGBTQ+に関する本を置く。制服は男女で選択制にする。男女で髪型などの校則を統一するなど、少しずつ受け入れられる環境をつくっていくという案が多く出ました。

◎中学生モニター（2班）

僕たちは、北区子ども条例に対し望むことは、二つあります。

一つ目は、条約文章数についてです。内容は簡単に分かりやすく書き、また子どもたちにも分かってもらえるよう難しい言葉を使わないということです。

また、その他の意見としては、条例を子どもたちに分かりやすく知ってもらうために、動画を作ってみるということです。

これで、2班の発表を終わります。

◎広報課長

2班の皆さん、ありがとうございました。

それでは、今度は1班と3班の皆さんから、2班への質問やご意見を伺いたいと思います。ご質問等ある方はいらっしゃいますか。

はい、〇〇〇さん。

◎中学生モニター（1班）

飛鳥中学2年の〇〇〇です。

LGBTQ+については、結構いろんな意見があると思うんですけど、その中でもその難しいテーマを選んだのにすごいいろんな意見が出ていて、いいなと思ったのと、あと男女で髪型の校則が違うのは、結構クラスの子とかも文句を言っているというか、そういう感じの子もいるので、改善に向けた取り組みの意見はとてもいいと思いました。

以上です。

◎広報課長

ありがとうございました。ほかにありますか。

〇〇〇さん、お願いします。

◎中学生モニター（1班）

稲付中学校2年の〇〇〇です。髪型を統一するという意見について提案なんですけど、統一だと、多分男の子寄りの髪型とか、女の子寄りの髪型とか、一つ結びとかショートカットとか色々あるじゃないですか。だから、統一するとどっちか寄りになってしまうと言いますか、見た目的にも、そう思うので、統一するよりも髪型を邪魔にならない程度で自由にするとか、そういうのはどうかなと思いました。

以上です。

◎広報課長

ありがとうございました。何か2班のほうから意見はありますか。

◎中学生モニター（2班）

これは統一というのは、校則を統一するという意味で、髪型の校則を統一するから、

男子が髪を短くしなければいけないとか、そういうのをなくすという意味です。分かりづらくて、すみません。

◎広報課長

ありがとうございます。ほかに、3班の方、誰かいますか。

◎中学生モニター（3班）

飛鳥中学校の2年の〇〇〇です。この間、ニュースでちょうど同性婚についての裁判のニュースを見たんですけど、そういうのはやっぱり個人としての意見はすごく別れるんだなというのをそのニュースを見て分かったんですけど、この2班の発表を見て、個人の意見は分かれるんですけども、学校として受け入れるという気持ちをちゃんと教育したほうがいいんだなというのは、今回新しく気づいたので自分の視野が広まったなと考えることができました。

◎広報課長

ありがとうございました。

ほかに、質問や意見がある方はいらっしゃいますか。

3班の方は、ほかは大丈夫ですか。

それでは、区のほうから何かご意見等はございますでしょうか、ご意見、ご質問。

◎教育振興部長

2班の方、ありがとうございました。

LGBTQ+というのは、今は非常に区のほうでも話題というんですかね、関心が高まっているテーマになっているけど、なかなか生徒の皆さんが考えるというのは、確かに皆さんが言っていたように機会がない話なのかなと思います。そういうテーマを取り上げていただいたことは、本当に皆さんにとってもいい経験になったのかなと思っています。

また、考えていただいた内容については、今もお話が出ていましたけど、校則の問題、それから制服の問題、あとは、現状としては様々なトイレの問題とか、男女混合名簿の問題、それぞれで提案されていたようなことを、これまでも区議会というところの場で地域の皆さんからも我々も様々な要望いただいている内容と同じようなことであり、学校の皆さん方がそういうふうに考えていたんだなというのは、改めてそういう思いを持っていただいていることについては、私たちもしっかり耳を傾けていかなければいけないなと思いました。

そういう部分での制服については、これまでも北区も基本的には男性、女性それぞれが選べるようにということにはなっているわけですけど、難しいのが、例えば、じゃあ男性がスカートを履くことがいいのかということについては、様々な議論もあるのかなと思っています。自由選択制というのはそういうことも含めてになっていくと思いますので、その辺りをどう考えていくかというのは、様々な検討もしていかなければいけないなと思っています。

それから、男女混合名簿については、特に中学校については、今後そういうふうに進んでいくのかなと思っていますし、小学校はもう大体そういうふうにもなっているのかなと思っています。

ですので、皆さんがテーマで提案していただいたことについては、今後しっかり取

り組んでいかなければいけないですし、校則については、ぜひ学校内で生徒の皆さんたちで生徒会等の話し合いを進めていただいて、先生たちに提案していくという中で、どんどんいい改善を図っていただきたいなということで、これは私からもお願いをさせていただきたいなと思っています。その辺り、ぜひこれからも皆さん、今日の話し合いを踏まえて学校内で取り組みを進めていただけることを期待しています。ありがとうございました。

◎政策経営部長

政策経営部長です。発表、どうもありがとうございました。

自分から少しだけ感想なんですけど、今、政策経営部というところで区の全体的な計画とかつくっていて、実は去年の中学生モニター会議の場では20年後の北区をみんなに、中学生の子に考えてもらいました。そういった結果も踏まえて今、北区の方で20年後の北区をどうしていきたいかと考えていく中で、やっぱりこの問題はすごく大きいねという話をしています。LGBTQ+という言葉はあまり使わないんだけど、多様性という言葉を使って、一番、これから変わっていかなければいけないところは、こういう多様性を認め合う。こういったところが、本当に新しい視点になっていくんだろうなということで議論しています。

そういった中で、皆さんに直接中学生の立場からLGBTQ+のことを議論していただいたのは本当にありがたかったです。難しかったらと思うことも聞かせていただいて、そうなんだなと思いました。

今回、お話の中で、北区としてパートナーシップ宣誓制度のことも紹介していただきましたけど、北区は4月1日にそれが始まって、4月3日にはもうその証明書もらいに来たカップルの方がいたんですね。だから、そういう方は本当にこういった制度ができるのを待っていたんだなと改めて実感しています。

こういったことに関しては、先ほどちょっと話があったけど、個人個人によっていろんな意見があると思うんだけど、やっぱりこういったものを多様性を認め合うということとか、誰でも生き生きと生きていくことができる。そういうことに関しては絶対に正しいんだと思うんですね。ぜひ、そういうことを忘れないで、これからも色々、こういったことも考えながら中学校生活していただけたらなと思います。本日は、ありがとうございました。

◎広報課長

ありがとうございました。

ほかにご質問、ご意見はございますでしょうか。よろしいでしょうか。中学生の皆さんは大丈夫ですか。

それでは、2班の皆さん、どうもありがとうございました。

それでは、最後になります。3班の皆さんです。準備をお願いいたします。

3班の皆さんは、「生まれる国が選べるとしたら、どんな国を選びますか。」というようなテーマで考えていただいています。

じゃあ、準備ができたら始めてください。お願いします。

◎中学生モニター（3班）

これから、3班の発表を始めます。気をつけ、礼。

まずは、自己紹介です。

僕は稲付中学校2年の〇〇〇です。

今回、中学生モニターに参加して、普段では味わえない体験できてとても楽しかったです。そして、自分がこんなふうになってほしいという北区を考えながらみんなで話し合いができてよかったです。

◎中学生モニター（3班）

浮間中学校2年、〇〇〇です。

今回、中学生モニターに参加して初めて会う人たちと協力して北区をよりよくするために話し合い、まとめる貴重な体験ができてよかったです。

◎中学生モニター（3班）

滝野川紅葉中学校の2年、〇〇〇です。

今回のモニター会議で北区をよりよくしたいという同じ意見を持った人と話し合うことができ、そこでまた考えが深められて、とても貴重な経験になりました。これからは学校生活を通して、今まで話したことをつなげていけるようにしたいです。

◎中学生モニター（3班）

飛鳥中学校2年、〇〇〇です。

今回の会議に参加して自分の育った町である北区について、改めて見直すことや知ることができ、本当にとっても貴重で有意義な時間を過ごすことができました。また、私もみんな同じ考えというか、北区をよりよくしていきたいという思いがあるので、私たちの意見が今後の北区にとってよりよいものになっていってほしいなと思っています。本当にこんな貴重な会に参加させていただきありがとうございました。

◎中学生モニター（3班）

神谷中学校2年、〇〇〇です。

今回、参加して、小学校のときに区政を話し合う会に参加した際とまた違った形で、このような中学生モニターに参加できたことをうれしく思います。小学校のときと違い、しっかりとした話し合いをし、紙にまとめることはちょっと大変でしたけど、みんなとできて楽しかったです。

◎中学生モニター（3班）

私たちは、「生まれる国が選べるとしたら、どんな国を選びますか。」というテーマで話し合いをしました。そこで出た理想的な国は、差別やいじめのない国です。ですが、実際に発生してしまっている問題、課題があります。

まず、外国人やハーフへの差別やいじめ。差別やいじめを受けている人が安心して相談できる場がない。そして、独りで悩んでしまうという問題や課題があります。

◎中学生モニター（3班）

次に、現状における解決のための支援策や周囲の大人たちの状況についてです。

日本では、学校の道徳で差別やいじめをテーマとした物語などを読み、感想を書く授業を行っていますが、物語では差別やいじめが身近に起こっていると感じづらく、あまり効果がないと考えました。

◎中学生モニター（3班）

今の私の学校の道徳の授業は、教科書の物語を読んで、感想を紙に書くという授業

です。

解決法としては、実際に差別やいじめを受けていた人、していた人の話を直接聞くのがいいのではないかと考えました。私は3か月前、いじめを受け、いじめをしていた学校の先生から直接話を聞きました。そのときに、自分の身近なところにいじめが存在することを知り、改めていじめはいけないことだと実感することができました。

差別やいじめについて学ぶのに用いるのは、道徳の教科書だけでなく、リアルな体験談だと思います。さらに、いじめられていた人だけでなくいじめていた人からの体験談を聞くことによって、今いじめをしている人の関心も高まるのではないかと考えます。

◎中学生モニター（3班）

また、学校では、いじめに関するアンケートが行われていますが、そのアンケートに自分の悩みを書きしてしまうと、先生に直接話をしなければならなくなるため、アンケートに気軽に悩みを書けない人が増えています。ですが、本当に悩みがなくて書いていない人と、実は悩んでいるけど紙に書けないでいる人という両方の方がいるため、それを見極める必要もあります。

また、学校で相談窓口周知カードというものが配布されていると思います。下のよ
うな、このようなものが配布されていますが、これも本当に自分の相談したもの、秘密を守ってくれるのか。また、家で電話ができるという環境でもないため気軽に電話できないというふうに、悩みを結果、独りで抱えてしまう問題もあります。

◎中学生モニター（3班）

そのために「きたコン」を活用した、もっと気軽に使えるホットラインで学校側との連絡が取れるツールを作り、個人メッセージ機能で特定の相談しやすい先生にメールで言ってみたり、区のLINE相談窓口を知ってもらえるように「きたコン」にLINEアプリで入れればよいと思いました。

また、様々な生徒に対応でき、学校のみではなく、SNS内でのカウンセラーさんへの相談や知らない方のほうが話しやすいという方のためにもLINEだけでなく、世界共通SNSを入れるのもいいと思います。SNSのアカウントは非公開にすれば、知らない人に話しかけられることもありませんし、LINEの友達自動追加機能をなくすことで生徒同士の交換ができず、トラブルなく安全に使用できると思います。

◎中学生モニター（3班）

最後に、私たちが「（仮称）北区子ども条例」に望むことについてです。

まず、名称は、「北区子ども未来条例」がいいと思いました。

次に、条文数についてです。条文数は短いほうが子どもにも分かりやすいので、短いほうがいいと思います。

最後に、その他です。まず、歌を作り、音楽の授業で歌う。ダンスを作り、体育の授業で踊る。夕方のチャイムを「夕焼け小焼け」から条例の歌にする。条例の暗記テストをするという案が出ました。

これで、3班の発表を終わります。気をつけ、礼。

◎広報課長

3班の皆さん、どうもありがとうございました。

それでは、今度は1班と2班の皆さんから質問やご意見があればお願いしたいと思います。ある人は挙手をお願いします。

はい、お願いします。

◎中学生モニター（1班）

滝野川紅葉中学校から来ました〇〇〇です。

いじめの加害者側からのお話も聞くという意見がすごく斬新な発想だなと思って、私にはない発想だったので、すごくいい意見だなと思いました。

◎広報課長

ありがとうございました。ほかにご意見や質問のある方は。

◎中学生モニター（1班）

稲付中学校の2年、〇〇〇です。

北区子ども条例に望むことについて、歌を作るとかダンスを作るとか夕焼けチャイムで流してみるとか暗記テストをしてみるとか、どうしてもこういうのは真面目というかすごい硬い感じで考えてしまうんですけど、歌とか、みんなが楽しいみたいな感じで、そういう斬新なアイデアがすごくいいなと思いました。

◎広報課長

ありがとうございました。

◎中学生モニター（1班）

堀船中学校の〇〇〇です。

二人が言っていたように、すごい斬新な、3班さんならではの発想でいいなと思いました。私は相談窓口のことについて「きたコン」を使ったり、LINEを使ったりするというのがすごくいいと思いました。トラブルとかへの対処法も考えられていて、私もぜひそうしてほしいなと思いました。

以上です。

◎広報課長

ありがとうございました。

1班は、ほかは大丈夫ですか。

◎中学生モニター（1班）

飛鳥中学2年の〇〇〇です。

ちょっと同じような意見になってしまうんですけど、歌を作ったりとか夕焼けチャイムを条例の歌にして取り替えてしまったりするというのは、確かに親しみやすいし、とてもいい意見だなというふうに思いました。

以上です。

◎広報課長

ありがとうございました。

はい、じゃあ2班にいきます。お願いします。

◎中学生モニター（2班）

飛鳥中から来ました〇〇〇です。

その他の意見で歌を作るとかというのがとても面白い意見だなと思ったんですけど、ちょっと一つ質問なんですけど、どういう歌にしたいとかあるんですか。

◎広報課長

じゃあ、3班の皆さん、それに対して回答をお願いします。

◎中学生モニター（3班）

誰にも覚えやすいように夕焼けチャイムの代わりに流すなら、1分くらいで小さい子も口ずさむようなCMみたいな感じですよ。短い感じの、最近はやっている感じのリズムがいいかなと話していました。

◎広報課長

〇〇〇さん、大丈夫ですか、今の答えで。

◎中学生モニター（2班）

ありがとうございました。

◎広報課長

ほかに2班の方で質問のある方。はい、お願いします。

◎中学生モニター（2班）

滝野川紅葉中学校の〇〇〇です。

道徳の教科書に載っているいじめの話だと信用性が低いとか、実感が湧かないというのなるほどなと思いました。あと、相談窓口カードの秘密を守ってくれるか心配というのもすごい、いつもちょっと感じているのと同じで共感しました。あと、写真とか、いっぱい貼ってあって分かりやすく、すごいなと思いました。

◎広報課長

どうもありがとうございました。

2班のほかのお二人は大丈夫ですか。大丈夫、はい、分かりました。

色々出ていましたけれども、教育振興部長、何かございますか。

◎教育振興部長

3班の人、ありがとうございました。

1班の人も取り上げていたような問題の、いじめの問題中心のところだったのかなと思いますけど、話の中で出ていたように、いじめを受けている方は独りで悩んでしまうことが多いんだろうなということで、なかなかそれが相談できなかつたり打ち明けられない。

また、お話いただいたように、そういう相談カードとかがあっても、なかなかそのカードが信用できないというか、そういう自分のプライベートが守られるかどうかという心配もあるというようなことで、実際には本当にそういうことがあって、なかなかいじめの問題は解決が難しいかなというふうにも思っています。

できるだけ、今、提案にもありましたけど、「きたコン」が皆さんに配布されて、その中で様々なつながる手段というものもできてきている。皆さん、スマホもお持ちだと思いますけれども、様々なLINEを通してとか、情報共有の場というのは一方であると思っています。中学校だけじゃなく、小学生についても様々なSNSの取扱いのルールとか、学校でも決めていますけど、そういうのを皆さんがしっかり守っていただく中で情報共有の仕方というのをしっかり徹底していくことによって、今みたいな相談もしやすくなっていくのかなと思っています。本当にそういうことをしていかないと、本当にいじめを受けている子たちを救ってあげることがなかなかでき

ないだろうなというふうに思いますので、そういう今、ご提案いただいたことについては教育委員会としてもしっかり研究と検討して、学校の先生方にもこういう意見があったということはお伝えさせていただきたいなと思います。

また、道徳の授業についても生の声を聞く、体験を聞くというようなことも、本当にそれは一番分かりやすいことだと思いますし、実体験を通してそれを基に話し合うということは非常に大事なことかなと思っていますので、そういう場をつくっていく機会があれば、それはそれで道徳等の授業の中で活動が広がっていけばいいかなと思っています。

今日は貴重な意見をいただきましてありがとうございます。

◎広報課長

ありがとうございます。ほかにご意見はございますでしょうか。

〇〇〇委員（教育委員A）、お願いいたします。

◎教育委員A

実は私は元小学校の教員なんですね。ですので、今の部長のお話に対し少し付け加えさせていただきますたいんですが、特に道徳の授業についてです。

今、皆さん、少しずつ道徳の授業の在り方も変わってきていることは多分感じていると思うんですが、問題解決型というか、話し合いを中心にするように変わってきていると思うんです。最後に感想を書いてということがあったんですが、その感想のところでは本当は自分がその50分の中で考えを深めたことを、そこで再認識するような場が取ればいいなということを先生たちは願っているわけなんですね。そうするためには、教材のことから離れて、いかに皆さんが教材をきっかけにしながら真に心に迫るような話し合いを、お互いが安心して信頼し合う中でできるか。そこにかかっているんだと思います。もちろん、それは学級の中の先生との関係もあると思いますけれども、何よりも生徒同士の関係がよければ、道徳の授業が単なる授業ではなくて自分の人生の生き方についてしっかり考える時間になっていく。そういうことが本来の道徳の狙いであるというふうに思っています。

ですので、皆さんはどのような課題も我が事として本当にしっかり考えていらっしゃる、素晴らしい方だというふうに思いますけれども、そういう道筋を、ぜひ皆さんのような方たちに学級の中に広めてよりよい有効な時間にしていただきたいと思いますというふうに思いました。どうぞよろしくお願いいたします。

◎広報課長

〇〇〇委員（教育委員A）、ありがとうございます。

ほかにはよろしいでしょうか。

ほかに質問等ないようです。それでは、3班の皆さん、どうもありがとうございました。

6 . 講 評

◎広報課長

1班から3班の皆さん、素晴らしい発表、また斬新なご意見の発表、どうもありが

とうございました。皆さんの発表を受けまして、講評ということで区側から意見などを一言いただきたいと思っています。今日、たくさん部長さんたちが来ていますので、「(仮称)北区子ども条例」を所管しております、子ども未来部長から代表して講評をお願いいたします。

◎子ども未来部長

子ども未来部長です。今日は本当にありがとうございました。とても楽しみにしてきたんですけども、思ったより皆さんのいろんな意見が聞けて本当に楽しかったです。ありがとうございました。その中でちょっと班ごとにお話をさせていただければと思うので、聞いてください。

まず、1班の方、中学生にとって心地よいと思うところはどこでしょうかという居場所の中で、自分らしくいられるところ。好きなところは幾つかあるといいよねということ。そうだよねと、とても自分も共感をしました。

それから、大人と子どものコミュニケーションをもっとしっかり取っていかうねということ。これも本当に大事なことだなというふうに思いました。子どもの意見を大人が聞いたり、子どもの皆さんも大人の意見を聞いたりすることというのがとても大事だよねというふうに改めて思いました。

それから、先ほどの質問でも出ていたんですけども、オンラインで誰が受けているか分からないようにすることは大事だねということ。ああ、そうなんだと、そういうところ、気がつかなかったことが気がつけてとてもうれしかったです。

それから、子ども条例については、「子どもを守ろう条例」とか「子ども幸福条例」などという名前の提案、ありがとうございます。英語とか中国語とかいろんな言語でつくってほしいねということ、ちょっと考えて、みんなでもた考えてみたいと思います。ありがとうございました。

それから、1班の方には、ほかの班の方がほめてくれていました。うれしいよね、ほめてもらって。とても、こうだったんだ、すごいねと、ほめてもらえることはすごいなというふうに思います。うれしいよね。私なんかみんなに怒ってばかりいるので、ほめて、そうなんだねと言ってあげられることが大事だねととても思いました。ありがとうございます。

それから、2班の方、LGBTQ+、本当に難しいテーマを、このテーマを選んだと聞いたときに、え、難しいテーマをすごいね、とまず思いました。お話を聞いていて、LGBTQ+の方を自然に受け入れていくこと。知ってもらうための、理解をしてもらうための呼びかけをしていかなければいけないんじゃないのということであるとか、例として先生が理解して聞いてあげる環境をつくってくれた。これがよかったというふうに聞いたので、私たちも注意してそういう環境をつくっていくことが大事だよねと思いました。

それから、教育振興部長からもあったように、トイレの話であるとか、髪型の話であるとか同性婚の話であるとか、少しずつ受け入れられる環境をつくっていくということ、そこが大事だよねというふうに思いました。

それから、条例については簡単で分かりやすく難しい言葉をできるだけ使わないように、また頑張っていきたいと思います。動画を作るということ。ここも全然思っ

いなかったんですけども、そういうこともできれば考えていけたらなと思います。

それから、LGBTQ+については、3班の方からの意見でニュースを見て自分も考えたということとか、自分の意見と違う人の意見を受け入れることが大事だよねというコメントをもらえて本当にそうだよねと思います。これからも色々なことを経験していく中で意見の違う人はたくさんいると思うけれども、それを受け入れられることが大事なんだよねというふうに思っています。

それから、3班の方は生まれる国が選べるとしたら、どんな国を選びますか。これもとても難しいなと、どういうふうに発表してくれるのかなと思っていたら、差別のない、いじめのない国。外国人の方などへのいじめのない国。相談できる場所がない、そんなことがないような国がいいよねということでした。

それから、教科書の物語は身近ではないから、差別やいじめを受けた人、していた人から直接話を聞ける機会があると、いいよねという話がありました。いじめられた人だけじゃなくていじめた人の意見を聞くことができる。これが大事だよねというお話があったので、1班の方もそう言っていましたけれども、私もそうだなと思いました。いじめた人も多分理由があったんだよ。そういういじめた人の意見も聞けること。そういう体験をみんなにしてもらうことは大事なんだなと思いました。

それからアンケートに書くと、そうですよね、先生に分かってしまうから書けない人もいるだろうと。そこを書けない人と悩みがない人と、どうやって私たちが分かっていくのかな。それには、「きたコン」であるとかホットラインとか、LINEの相談であるとか、いろんなところがあると思います。そういうところをこれからも考えて、大人のほうでも考えていきたいと思うので、また皆さんの意見を教えてください。

それから、条例については短いもの、分かりやすいもの。それから、歌を作ること。夕焼けチャイムとかで流していくということ。暗記テストなんていうご意見もいただきました。北区の歌は知っていますか。知っている、北区の歌は知っていますか。知らない。北区の歌があるんです。学校では、今、先生やらないですか。さくら体操とか、北区の歌の次をいくような子ども条例の歌とか、何か分かりやすいものがあるよねと思います。写真を貼ってあって、すごいねと言ってほめてくれた方もいて、皆さんもうれしかっただろうなというふうに思います。

それから、最後になりますが、皆さん全員から、自己紹介で言ってくれた「こういう機会があってうれしかった」とか、「いろんなほかの学校の方と話ができてうれしかった」ということがありました。本当に貴重な体験だと思うので、色々なところでまた北区のために頑張ってください。そして私たちに教えてください。今日は本当に勉強になりました。ありがとうございました。

フ . 感 想

◎広報課長

子ども未来部長、どうもありがとうございました。

それでは、続きまして、本日お越しいただきありがとうございます教育委員のお二方からも感想を一言ずついただきたいと思います。

それでは、初めに、〇〇〇教育委員（教育委員A）、よろしく願いいたします。

◎教育委員A

本当に皆さん、今日はすてきな時間を一緒に過ごさせていただいてありがとうございました。

教育委員というのは、区民の代表として北区がやっていることを聞いたり、それに対して区民の皆さんに代わって色々な意見をお伝えしたり、そういうような役割をしているところです。ですので、今日のような皆さんの話し合いも、担当の子ども未来課長が教育委員会の中で報告をしてくれるというふうに思うのですが、報告は間接的なものですし、それから文字で読んでということが多いので、もちろんそこから得ることはたくさんありますけれども、今日のように皆さん方の姿を直接見聞きして、ノンバーバル、表情だとか雰囲気だとか、言葉の中身以外のことも、じかに感じることでできたのは本当に大きな私の中の財産になりました。とてもすてきな時間を過ごさせてもらったなというふうに思っています。

今、お話ししたことともちょっと関連するんですが、先ほどの道德のところでも、それから多目的トイレのところでも感じたんですけども、例えば誰でも使えるトイレ、今、多目的トイレは「だれでもトイレ」ですね。「だれでもトイレ」という名前が学校にもあるところが増えてきていると思うんですけども、例えばコンビニなんかに行くと、男女共用のところはずなんですけれども、「ここは男性の方はお控えください」というような表示があるところもあります。それは、「女の方が使うときにとっても嫌な思いをするからです」ということを上を書いてあるんですが、どういうことなのかなというふうに私はいつもそのことを不思議に思っています。つまり例えば区でしたら、行政側がいろいろなことを用意しておいたとしても、それを使う側の区民の意識も共に上がっていかなければ、それを上手に活用することはできない。そういうことだと思うんですね。「だれでもトイレ」についても、同じようなことが考えられると思います。先ほどの道德の話もそうです。せっかく用意された50分をどう活用していくのは、生徒である皆さん方自身の問題、もちろん教員も頑張らなければいけませんけれども。

そういう意味で、今日は大変意識の高い北区民である中学生の皆さんがここに揃って色々話し合いをして、そしてその結果を発表していること。非常に素晴らしいことだなというふうに心から感激しています。本当に今日はすてきな時間をありがとうございました。

◎広報課長

〇〇〇委員（教育委員A）、ありがとうございました。それでは、〇〇〇教育委員（教育委員B）、よろしく願いいたします。

◎教育委員B

皆様、お疲れさまでした。本日のモニター会議発表会ということでございますが、色々な問題等をお聞きしまして、また各班のテーマも難しい問題ばかりではなかったかなと思っております。

第1班の心地よい居場所というようなところですけども、1班の皆様方、複数の居場所があったほうがいいよねというような、その気持ちによって、この居場所に行

ける、次はこういう居場所に行けるといような考え方でこれを発表されたんではないかと思っております。なので、それを複数というの、自分たちの考え方がそれだけ多いなということはあるのではないかなと思っております。

また、2班の方々のLGBTQ+の問題も、私たちよりも今の中学生がそれだけ理解しているのかなと思っております。その考え方を、また2班の人たちはみんなで協力し合って認め合っている素晴らしい考えを持っているかなと思っております。やはり制服の問題にしてもトイレの問題にしても、これからもっともっとうような問題が起きてくると思いますので、こういう貴重なお話を私たちに、これから人生のプラスになるのではないかなと思っております。

それから、3班の生まれる国を選べるという、普通、多分小学生たちに聞くと、アメリカ、フランスとかと、そういう話になってしまうと思います。やはりいじめのないという国がいいというふうな考え方の答えを出してくるということは、やはりそれだけ中学生が素晴らしい考えを持っているんだかなと思っております。20年後の北区、これから安心していけるかなと思っております。

本日はお疲れさまでした。ありがとうございました。

◎広報課長

〇〇〇委員（教育委員B）、ありがとうございました。

それでは、今日、教育の話もたくさん出ておりましたので、教育振興部長、お願いいたします。

◎教育振興部長

改めまして、皆さん、お疲れさまでした。教育振興部長です。

先ほどの各班のテーマなり確認については、コメントさせていただいたので、それ以外のところということで、皆さん、今日本当に、皆さんの感想の中にもありましたけど、やはりほかの学校の皆さんとこうやって話し合いをして取りまとめて、意見をまとめて発表すると。こういう機会というのは、なかなかそんなにあるわけではありません。そんな中で貴重な経験をしていただいたのかなと思っておりますが、皆さんの発表の中にも、またコメントの中にもありましたけど、未来の北区を考えると、よりよくしたいという意見は出ていました。皆さんが20年後、30年後そのまま北区に住んでいるかどうか分からないかもしれませんが、私も生まれ育って卒業した学校は今の明桜中の前身の豊島中です。北区に住んで、今は十条に住んでいますけど、北区に住んで40数年、40年前ぐらいに豊島中を卒業しました。こういう立場で今、仕事していますけど、未来の皆さんが逆に40年後ぐらいにこちらの場でコメントするような立場になっていただけたらうれしいなというふうに思っておりますので、今日の皆さんが考えていただいたことがどの程度実現するかは、我々もしっかり考えて頑張っていきたいと思っておりますけど、皆さんもそれぞれでしっかり考えていただいて、北区のためにこれからも頑張っていきたいなと思っております。ありがとうございました。

◎広報課長

教育振興部長、ありがとうございました。

それでは、最後になりますけれども、政策経営部長から全体の感想をお願いいたし

ます。

◎政策経営部長

改めて政策経営部長です。全体の話をしていただきたいと思います。

本当に中学生モニターに参加していただきありがとうございます。多分、皆さん本当に忙しんだと思うんですけど、この何日間かを「(仮称)北区子ども条例」の検討に時間を使っていただきありがとうございます。

北区のほうでは、すごく小学生、中学生、高校生の意見を聞きたいなと思っていて、小学生との区政を話し合う会というのをやったり、あと中学生モニター、これから秋になると高校生モニターというのをやっています。その中で様々な意見をもらって、少しでもそれを区政に反映していければなというふうに思っています。

中学生モニター、去年やったとき、残念ながら本当にコロナ禍で人が集まることができなくて、実は1日しかできなかったんですね。だから、1日でみんな違った学校の子たちとその1日の中で話し合いをして発表してもらったからすごく頑張ってくれていたんだけど、今年みたいに今年は割と打合せをする中ですごくみんな仲よくなったと思うので、そういうことを含めて、今年の発表はすごくいい発表を聞いたなと思っています。

こういった発表の場を、実は花川区長は非常に大好きで、多分こういった制度を始めてから欠席されたことはないと思っています。小学生、中学生、高校生の発表の場には必ず出席されて、当然こういった意見は条例を作るときに出していくんですけど、北区ではそれ以外の計画もつくったりとか、予算をつくっていろんなことやっていくときに、結構花川区長からあのとき出たあの意見どうしたとか、どうなっていると聞かれることがあります。すごくこういった場でいただいた意見を大切にして実現していこうという形で今考えていますので、ぜひこれからも、きっと皆さん、またモニター会議が終わって、普通の夏休みになって、また勉強に部活に忙しいと思うんですけど、できたらちょっと何かのときにはこんなふうになっていたらいいなとか、北区がこんな区になったらすごくうれしいなと思うことがあったら、ちょっとでも北区に伝えていただけたら、それを実現に向けて少しでも頑張っていきたいと思いますので、そういった取り組みも、また活発に議論をしていただければというふうに思っています。

本当にこの5日間どうもありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。

◎広報課長

政策経営部長、どうもありがとうございました。

講評と感想は以上になります。

次第では、次に写真撮影というふうになっているんですけども、ちょっと写真撮影をするには場所を少しセッティングしなければいけないということもありますので、写真は閉会の後に撮りたいと思います。

8 . 閉 会

◎広報課長

それでは、閉会に移らさせていただきます。

今、教育委員の方々や区の部長から色々コメントがございましたけれども、今回はこの中学生モニターに参加をしていただきましてありがとうございました。先週、初めて皆さんが顔を合わせたときから和気あいあいとしていたので安心はしていたところですが、今日、改めて皆さんにお会いしたら前からの友達のように話し合いをしていて、最後の最後、発表に向けて仕上げを頑張っていた姿が私はかなり印象的でした。これで、中学生モニターの活動は終了になりますけれども、こうした活動や経験を通じて、せっかく会った仲間ですから大切にさせていただいて連絡も取り合ったりしながら、今後も勉強や部活動を頑張っていたきたいと思います。

また、区に対してのいろんなご意見とかがあれば区長への手紙とかはがきというものもありますし、またメールで区政へのご意見というものもありますから、何か気づいたことがあってこうしてほしいなというのがあったら、そういったものも、ぜひ活用をしていただきたいと思います。

広報課のほうでそれはやっていますので、後ろのピンクと黄色のポロシャツを着ている職員が担当していますから、ちゃんと今聞いているので大丈夫だと思います。何かあったら、ぜひそういったことをご意見をいただきたいと思います。

それでは、これをもちまして、令和4年度中学生モニター会議発表会を終了いたします。皆さん、どうもありがとうございました。

令和4年度「中学生モ二夕一会議」

活動記録

令和4年10月

刊行物登録番号 4-1-076

編集発行 北区政策経営部広報課

東京都北区王子本町 1-15-22

電話 03(3908)1102